

イグラチモド錠 25mg 「ケミファ」

【この薬は？】

販売名	イグラチモド錠 25mg 「ケミファ」 Iguratimod Tablets 25mg “Chemiphar”
一般名	イグラチモド Iguratimod
含有量 (1 錠中)	25. 0mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗リウマチ剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、免疫機能や炎症に関与している細胞の働きを抑えることにより、関節の腫れや痛みなどの症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

関節リウマチ

- ・体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○この薬の使用中に、汎血球減少症^{*1}がおこることがあります。以下の症状があらわれた場合は、この薬を中止し、ただちに医師に連絡してください。

めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい

* 1 汎血球減少症：血液中の赤血球、白血球、血小板のすべてが減少する病気

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人（動物実験で胎児への影響が認められたとの報告があります。）
- ・肝臓に重篤な障害のある人
- ・消化性潰瘍のある人
- ・過去にイグラチモド錠「ケミファ」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・ワルファリン（ワーファリン等）を使用している人[イグラチモド製剤とワルファリンとの併用により、ワルファリンの作用が増強され、重篤な出血がおきた症例が報告されています。]

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。

- ・授乳中の人
- ・肝臓に障害のある人、または過去に肝臓に障害のあった人
- ・過去に消化性潰瘍のあった人
- ・体重が40kg未満の人
- ・貧血、白血球減少、血小板減少のある人、または骨髄機能が低下している人
- ・腎臓に障害のある人
- ・高齢の人

○この薬には併用してはいけない薬[ワルファリン（ワーファリン等）]や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○この薬の使用前に、臨床検査（血液や尿などの検査）が行われます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

	4週目まで	5週目以降
1日量	1錠	1～2錠 ^{*2}
1回量	1錠	
飲む回数	1日1錠の場合：1回（朝食後） 1日2錠の場合：2回（朝食後、夕食後）	

*2：医師が経過を見ながら投与量を調整します。医師の指示に従い、増量します。

1日量として2錠より多く飲まないでください。

飲み始めて効果があらわれるまで個人差があり、16週間くらいかかることがあります。

●どのように飲むか？

かみ砕いたりせずに、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れた場合は、飲み忘れた分をとばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用中に、血液障害、肝機能障害、腎機能障害がおこることがあります。これらの早期発見のために、飲み始めの2ヵ月は2週に1回、その後は1ヵ月に1回など定期的に臨床検査（血液や尿などの検査）が行われます。
- ・この薬の使用中に、間質性肺炎がおこることがあるので、必要に応じて胸部X線検査等が行われることがあります。以下の症状があらわれた場合は、この薬を中止し、ただちに医師に相談してください。
発熱、から咳、息苦しい、息切れ
- ・妊娠する可能性がある女性がこの薬を飲む場合は、妊娠しないように注意してください。この薬を飲んでいる間に妊娠がわかった場合は、すぐに医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
汎血球減少症 はんけつきゅうげんしょうしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血しやすい
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
白血球減少 はつけつきゅうげんしょう	発熱、のどの痛み
消化性潰瘍 しょうかせいかいよう	胸やけ、胃もたれ、背中での痛み
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
感染症 かんせんしょう	かぜのような症状、からだがだるい、発熱、嘔吐（おうと）

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだのだるい、発熱、かぜのような症状
頭部	めまい
顔面	鼻血
眼	白目が黄色くなる
耳	耳鳴り
口や喉	吐き気、嘔吐（おうと）、歯ぐきの出血、のどの痛み、から咳
胸部	吐き気、息切れ、動悸（どうき）、胸やけ、息苦しい
腹部	食欲不振、吐き気、胃もたれ
背中	背中痛み
皮膚	かゆみ、皮膚が黄色くなる、あおあざができる
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる
その他	出血しやすい

【この薬の形は？】

形状	フィルムコーティング錠 
直径	7.6mm
厚さ	4.1mm
重さ	190.6mg
色	白色
識別コード	イグラチモド 25 ケミファ

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	イグラチモド
添加物	カルナウバロウ、カルメロースカルシウム、結晶セルロース、酸化チタン、ステアリン酸マグネシウム、タルク、ヒプロメロース、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、マクロゴール 6000

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、医師や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：日本ケミファ株式会社 (<https://www.chemiphar.co.jp>)

安全管理部 くすり相談室

電話：0120-47-9321 03-3863-1225

FAX：03-3861-9567

受付時間：8時45分～17時30分

（土日、祝祭日および弊社休業日を除く）